

参考人の招致について(案)

1 招致概要

(1) 案件名

「2040年を見据えた大都市自治体の展望」

(2) 日時

令和元年9月24日(火) 午後1時30分

(3) 参考人(講師)

東京大学先端科学技術研究センター教授
牧原 出(まきはら いくる) 氏

2 実施方法

横浜市会参考人意見聴取要綱に基づき運営
講演(60分程度)及び質疑

牧原 出 氏（東京大学先端科学技術研究センター教授）

学歴・学位	東京大学法学部卒業、東京大学博士（学術）
専門分野	政治学、行政学
所属学会・団体	日本行政学会、日本政治学会、日本公共政策学会
主な兼職・社会的活動	2018年～ 内閣府「第32次地方制度調査会」委員 2017～2018年 総務省「自治体戦略2040構想研究会」座長代理 2014～2015年 総務省「地方議会に関する研究会」委員 2012～2018年 総務省「国地方係争処理委員会」委員
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治体の基本構造についてヨーロッパ諸国を素材にした比較行政研究に従事。 ・ 人口増を前提とした戦後日本の地方自治理論に対して、人口減のもとでの再解釈について継続して分析・検討。 ・ 東北大学在任中に、公共政策大学院での研究教育を通じ、内政諸課題について、実地調査に即した政策を提言。それをもとに東京大学先端科学技術研究センターでは、地域における産官学の連携を多様に繰り返して新しい政策を案出する「地域共創リビングラボ」の設立と運営に尽力。 ・ オーラル・ヒストリー[*]による政治史研究として、地方自治・地域政策に関わる政治家・官僚への聞き取りと記録作成を実施。

※オーラル・ヒストリー

歴史研究のために関係者から直接話を聞き取り、記録としてまとめること。